

藤沢市平和学習広島派遣プログラム

被爆電車に乗って被爆の記憶を辿る

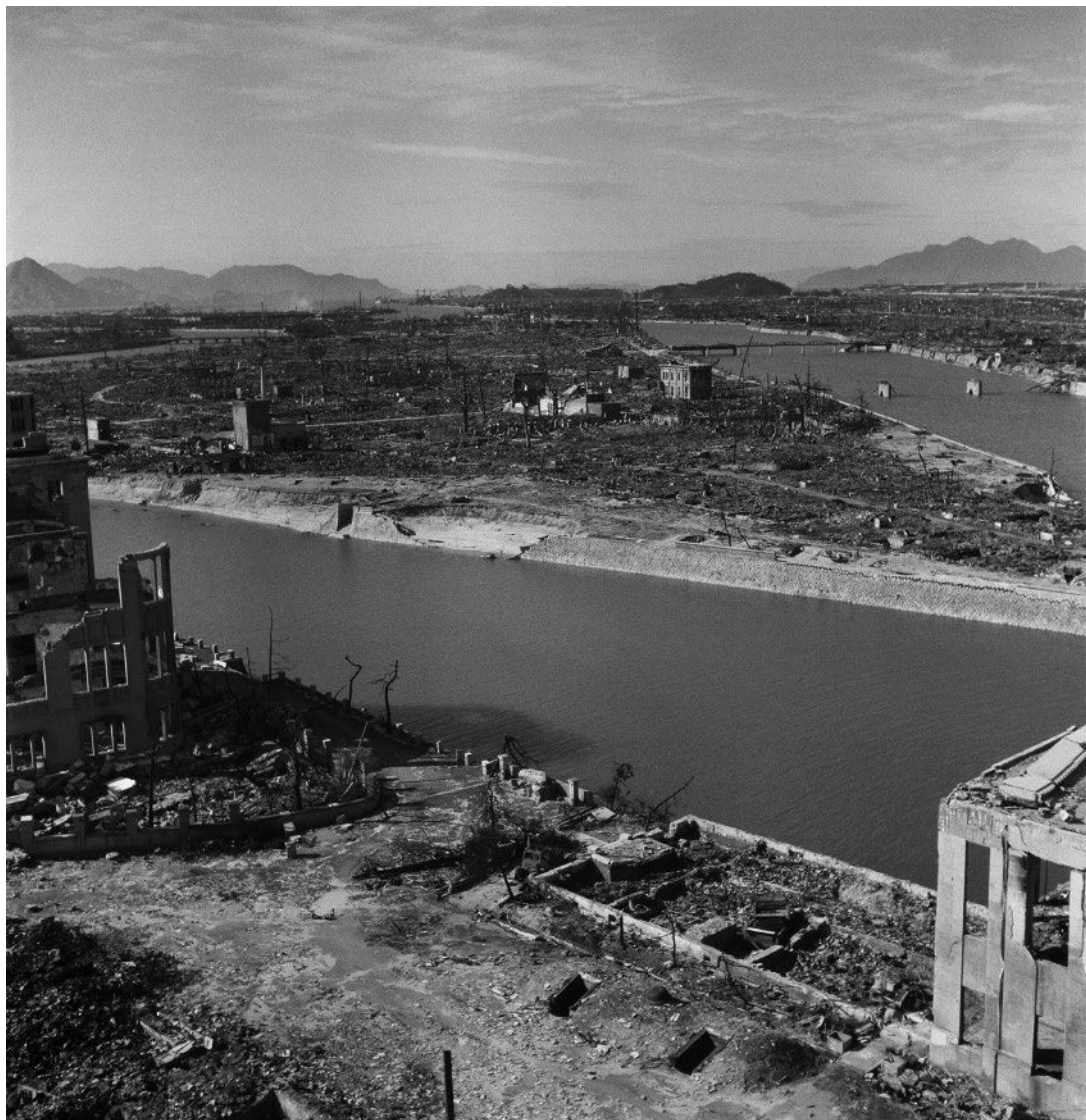


解説資料

- ① 中島地区
- ② 広島県産業奨励館(原爆ドーム)
- ③ 爆心地
- ④ 帝国銀行広島支店
- ⑤ 本通商店街
- ⑥ 旧日本銀行広島支店
- ⑦ 袋町国民学校(現・袋町小学校)
- ⑧ 被爆電車(651号車)
- ⑨ 広島市役所本庁舎
- ⑩ 広島赤十字病院
- ⑪ 広島電鉄株式会社
- ⑫ 御幸橋
- ⑬ 旧制広島高等学校(現・広大附属中・高校)
- ⑭ 広島電鉄家政女学校
- ⑮ 鶴見橋
- ⑯ 多聞院
- ⑰ 広島駅



1 中島地区 爆心地から約100～700メートル



中島地区(現在の平和記念公園一帯)は、幕末から明治・大正・昭和にかけて市内有数の繁華街としてにぎわっていました。1945年(昭和20年)8月6日、爆心地から至近距離にあったこの地区は、全滅状態となりました。この日は、多数の学徒と地域や職場から動員された人々が現在の平和大通り周辺で、建物の疎開作業のため動員されていました。顔の判別もつかぬほど焼けただれ、水を求めて川岸に集まった生徒たちは、全員が死亡しました。

本文：広島市原爆被災説明板

写真：「広島県商工経済会屋上から南南西方向」(中央の三角の洲が中島地区)

撮影日：1945年10月5日

撮影者：林 重男氏

提供者：広島平和記念資料館



藤沢市平和学習広島派遣プログラム 被爆電車に乗って被爆の記憶を辿る

M10 原爆ドーム前